

**製品名:** リン酸化 Nrf2 (Ser40) ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe01540

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.21mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 100 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	NFE2L2
別名	NFE2L2; NRF2; Nuclear factor erythroid 2-related factor 2; NF-E2-related factor 2; NFE2-related factor 2; HEBP1; Nuclear factor; erythroid derived 2; like 2
遺伝子 ID	4780
SwissProt ID	Q16236
免疫原	ヒト NRF2 の Ser40 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

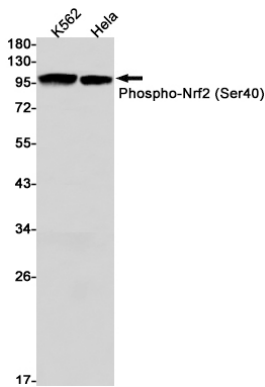
## 背景

標的遺伝子のプロモーター領域にある抗酸化応答 (ARE) エlementに結合する転写活性化因子。酸化ストレスに応答した遺伝子の協調的な上方制御に重要である。β グロビン遺伝子座制御領域の過感受性部位 2 のエンハンサー活性を媒介することにより、β グロビンクラスター遺伝子の転写活性化に関与している可能性がある。

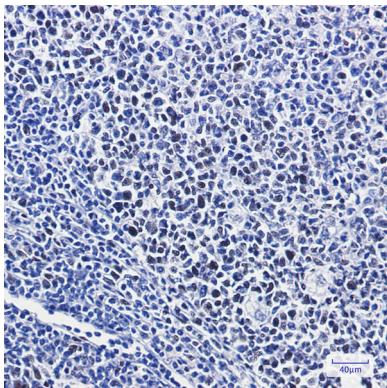
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



Phospho-Nrf2 (Ser40) 抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中の Phospho-Nrf2 (Ser40) のウェスタンブロット分析。



Nrf2 (リン酸化 S40) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。